

事故事例 I

ファンボートダイビング中の死亡事故



- 事故状況:

ボート後方からエントリー直後、カメラを受け取った事故者に船上にいるスタッフが「大丈夫ですか」と声をかけたところ「大丈夫です」と返事があり船首アンカーロープ方向に泳ぐ姿は見た。

■ 事故状況(続き)：

- 水底集合であったが一人いないことを確認、捜索したところ、船尾から20m後方の水底で事故者発見
- レギュレーターは外れ、呼吸なし、BCDに空気は入っていない
- BCDの中圧ホースは、外れていた
- 発見後、水面に引き上げ心肺蘇生を実施したが病院にて溺水により死亡が確認された



- **コンディション:**

- 晴れ、風なし、気温30°C、水温26°C、透視度7~12m、うねり極少、流れ若干

- **引率スタッフ:**

- インストラクター1名、アシスタント3名

- **潜水経験本数:**

- 事故者5本、事故者のバディー8本、Aさん80本、Bさん50本、Cさん9本、Dさん20本、Eさん4本、Fさん5本

あなたの意見は？

- 事故はなぜ起きたのか？

事故者の技量は？

プロ側の対応は？

- 事故は防げなかったのか？

何が不足していたのか？

事故事例Ⅱ

ボートファンダイブ中
水面ではぐれる

■ 事故状況

- 午後0時頃出港
- ガイド1名: ゲスト8名
- 事故者: 女性32歳、経験本数25本
- 透視度5m, 潮流1ノット、全員ドライ着用
- エントリー後ブイ集合、その後潜降予定
- 流れがありガイド以外誰もブイに到着出来ず
- ガイドの指示で少し潜って水中からブイへ
- しかし全員そのまま潜降
- 10分後ブイから南東方向108m地点に浮上
- エキジット後事故者の居ないことに気付く
- ブイに係留したままの船上から捜索するが発見出来ず
- 一時間半後海上保安庁へ連絡
- 午後4時15分事故者発見: ブイから南東方向159m水深47m
- 死因: 溺死



皆さんはどう思いますか

- 事故者の技量は？
- バディーはいたのか？
- ガイドの行動は？

事故事例Ⅲ

ビーチファンダイビング

事故状況

- インストラクター1名 参加者5名
- バディー構成：
事故者A女性（経験本数18）・B男性（参加者
中最多経験本数85）・C男性（経験本数30）
の3名バディー
D女性（経験本数11）・E女性（経験本数20）
のバディー
- コンディション：良好

- 水中でのフォーメーション
 - インストラクター先頭、次にD・E、その後ろにA・B・Cが続く
- 午前9:06
 - 静岡県海岸岬先端付近にてエントリー
- 午前9:13
 - 岸から約10m沖合い水深5m付近にて事故者A耳抜きがうまく行かない様子示す
 - インストラクターが、全員を停止させる
 - 2～3分耳抜きの様子を確認
 - 耳抜きがうまく行かないのでインストラクターはBに対しAとともに浮上を指示
 - AとBはゆっくり浮上、水面到着をインストラクターは確認
 - 確認後、インストラクターとC・D・Eはツアー続行

- 午前9:17
 - AとB浮上後、Aが「苦しい」と言ってレギュレーターを外す
- 前9:20
 - 事故発生 溺れながら沈降
- 午前9:30
 - 捜索後発見、引き上げ
- 午前11:06
 - 病院にて死亡確認
- 死因 溺水
 - 事故者の健康面は良好
 - 認定レベルAOW
 - 器材良好
 - スーツ・ウエイト不明

あなたはどう思いますか？

- 事故の原因は？
事故者の技量は？
プロ側の対応は？
- 事故の予防策は？
水面での大原則は？
オーバーウエイトの可能性は無かったか？